

令和 6 年度(2024 年度)用

小学校国語科用

「新編 新しい国語」 年間指導計画作成資料 【5年】

令和 5 年（2023 年）7 月版

※単元ごとの配当時数、主な学習活動、評価規準などは、今後変更になる可能性があります。ご了承ください。

東京書籍

「新編 新しい国語」（第5学年）年間指導計画

■「評価の観点及びその趣旨」、「学年別の評価の観点の趣旨」の作成について

単元の指導計画・評価計画の作成に当たっては、各学校の実態に応じて目標に準拠した評価を行うために、学習指導要領に示された教科の目標を踏まえた「評価の観点及びその趣旨」と、学年の目標を踏まえた「学年別の評価の観点の趣旨」を作成します。

なお「主体的に学習に取り組む態度」の観点は、教科および学年の目標の(3)のうち、観点別学習状況の評価を通じて見取る部分をその内容として整理し、作成します。

小学校国語科の目標と「評価の観点及びその趣旨」

小学校学習指導要領 第2章 第1節 国語「第1 目標」

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)	(2)	(3)
日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。	日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。	言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

評価の観点及びその趣旨 <小学校 国語>

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げている。	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを広げたりしながら、言葉がもつよさを認識しようとしているとともに、言語感覚を養い、言葉をよりよく使おうとしている。

第5学年及び第6学年の目標と「評価の観点の趣旨」

小学校学習指導要領 第2章 第1節 国語「第2 各学年の目標及び内容〔第5学年及び第6学年〕 1 目標」

(1)	(2)	(3)
日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。	筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができるようにする。	言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

評価の観点の趣旨 <小学校 国語>第5学年及び第6学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げている。	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを広げたりしながら、言葉がもつよさを認識しようとしているとともに、進んで読書をし、言葉をよりよく使おうとしている。

■評価規準

【知・技】…「知識・技能」の観点および学習指導要領との対応

【思・判・表】…「思考・判断・表現」の観点および学習指導要領との対応

【主】…「主体的に学習に取り組む態度」の観点

※○は、重点指導事項に対応する評価規準を示す。

※学習指導要領との対応に示した記号は以下の通り。（「◇言語活動」においても同様）

〔知識及び技能〕(1)…言葉の特徴や使い方に関する事項 (2)…情報の扱い方に関する事項 (3)…我が国の言語文化に関する事項

〔思考力・判断力・表現力等〕A…話すこと・聞くこと B…書くこと C…読むこと

単元の指導計画・評価計画案

5 年

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
4	<p>集めよう、よいところ</p> <p>2時間(話聞2) 教科書:P.14～15</p> <hr/> <p>既習事項との関連 互いの考えに関心を持ち、やりとりを続ける。(4 上「もしも、こんなことができるなら」)</p>	<p>●同じ考えを持つ相手と対話を続けて考えを広げることができる。 ◇対話をする。</p> <hr/> <p>1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。 2 遊びに行くなら山がいいと考えた理由について伝え合う。 3 対話を続ける際に気をつけることについて、考えたことを伝え合う。 4 学んだことを振り返り、これからの学習に生かそうという意識を高める。</p>	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> 言葉には、話し手と聞き手の間に好ましい関係を築き、継続させる働きがあることに気づいている。(1)ア <p>【思・判・表】</p> <p>◎「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながらかし合い、考えを広げたりまとめたりしている。A(1)オ</p> <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> 進んで同じ考えの相手と対話を続けて、学習の見通しを持って考えを広げることができる。 	
4	<p>人物の心情を音読で伝えよう おにぎり石の伝説</p> <p>5 時間(読5) 教科書:P.16～30</p> <p>【言葉の力】 人物の心情の変化を想像して音読する</p> <hr/> <p>既習事項との関連 人物の気持ちを想像して音読する(4 年「こわれた千の楽器」)</p>	<p>●登場人物の心情が変化していく様子を読み取り、音読で表現することができる。 ◇物語を音読する。C(2)イ</p> <hr/> <p>見通す 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ</p> <p>取り組む 2 「おにぎり石の伝説」を読み、人物の心情の変化を捉える。 3 音読の工夫について考える。 4 印象に残った場面を選び、音読で表現する。</p> <p>振り返る 5 音読で表現するときに、どの言葉に着目して、どのような工夫をしたかを振り返り、身につけた「言葉の力」を確かめ、これからの学習に生かそうという意識を高める。</p>	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分が思ったことや考えたことを踏まえて、朗読している。(1)ケ <p>【思・判・表】</p> <p>◎登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えている。C(1)イ</p> <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> 進んで登場人物の心情が変化していく様子を読み取り、音読で表現しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 人物の心情の変化を想像しながら本を読み、読書を楽しむ。
4	<p>漢字を使おう 1</p> <p>1 時間(書1) 教科書:P.31</p>	<p>●4年生までに習った漢字を使って、文を書くことができる。 ◇絵の中の言葉を使って文を書く。</p> <hr/> <p>1 単元の学習課題を確かめる。 2 絵の中の言葉を使って、健康について文を書く。 3 学習を振り返り、4年生までに習った漢字を確かめる。</p>	<p>【知・技】</p> <p>◎第4学年までに配当されている漢字を書き、文の中で使っている。(1)エ</p> <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文を整えている。B(1)オ <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> 進んで第4学年までに配当されている漢字を使い、学習課題に沿って文を書こうとしている。 	
4	<p>図書館へ行こう</p> <p>2 時間(知技 2) 教科書:P.32～35</p> <hr/> <p>既習事項との関連 図書館や資料の利用の仕方について理解する (4 上「図書館へ行こう」)</p>	<p>●目的に応じて適切な本や資料を選ぶ必要があることを理解し、図書館を活用することができる。</p> <hr/> <p>1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。 2 目的に応じて適切な本や資料を選ぶために、どの資料にどのようなことが書かれているか、図書館に行って確かめる。 3 学習を振り返り、さまざまな資料の利用方法についての理解を確かめる。</p>	<p>【知・技】</p> <p>◎日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気づいている。(3)オ</p> <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> 目的に応じて適切な本や資料を選ぶことの必要性を理解し、学習の見通しを持って、図書館を活用しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 生活の中の読書に生かす。 他教科等で調べる学習を行う際に、学校または地域の図書館を活用する。

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
4	<p>知りたいことを聞き出そう</p> <p>4時間(話聞4) 教科書:P.38～41</p> <p>【言葉の力】 インタビューをして話を聞き出す</p> <p>-----</p> <p>既習事項との関連 くわしく知るために質問する (4上「話を聞いて質問しよう」)</p>	<p>●インタビューをして、自分の知りたいことを相手から聞き出すことができる。 ◇インタビューなどをして必要な情報を集める。A(2)イ</p> <p>-----</p> <p>見通す 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。</p> <p>取り組む 2 聞きたいことを整理する。 3 インタビューをする。 4 自分の考えをまとめる。</p> <p>振り返る 5 知りたいことを聞き出すためにどのようなことに気をつけたかを振り返り、身につけた「言葉の力」がどんな場面に役立つかを考え、これからの学習や生活に生かそうという意識を高める。</p>	<p>【知・技】 ・言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づいている。(1)ア</p> <p>【思・判・表】 ◎「話すこと・聞くこと」において、話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。A(1)エ</p> <p>【主】 ・進んでインタビューをして話を聞き出し、学習の見通しを持って必要な情報を集めようとしている。</p>	・総合的な学習の時間に、地域の方へインタビューをする。
4 5	<p>敬語</p> <p>2 時間(知技 2) 教科書:P.42～43</p> <p>-----</p> <p>既習事項との関連 丁寧な言葉を使うことを理解する(4上「お願いやお礼の手紙を書こう」)</p>	<p>●敬語を理解し、相手や場面に応じて適切に敬語を使うことができる。</p> <p>-----</p> <p>1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。 2 敬語の種類や使い方を理解する。 3 敬語を使って話したり書いたりして、敬語の使い方について理解を深める。 4 学習を振り返り、敬語の使い方についての理解を確かめる。</p>	<p>【知・技】 ◎日常よく使われる敬語を理解し使い慣れている。(1)キ</p> <p>【主】 ・進んで敬語を理解し、学習課題に沿って適切に使用しようとしている。</p>	
5	<p>要旨をまとめ、自分の考えを伝えよう インターネットは冒険だ</p> <p>【言葉の力】 要旨をとらえる</p> <p>5 時間(読 5) 教科書:P.44～54</p> <p>-----</p> <p>既習事項との関連 段落どうしのまとまりを捉える (4年「ヤドカリとインゲンチャク」)</p>	<p>●文章の構成を確かめて要旨をとらえ、筆者の考えに対する自分の意見を伝え合うことができる。 ◇説明的な文章を読み、分かったことや考えたことを話し合う。C(2)ア</p> <p>-----</p> <p>見通す 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。</p> <p>取り組む 2 「インターネットは冒険だ」を読み、文章の構成と内容を確認する。 3 要旨をまとめる。 4 筆者の考えに対する自分の意見を伝え合う。</p> <p>振り返る 5 文章の要旨をまとめるときに、どのような点に注目したかを振り返り、身につけた「言葉の力」がどんな場面に役立つかを考え、これからの学習や生活に生かそうという意識を高める。</p>	<p>【知・技】 ・文章の構成や展開について理解している。(1)カ</p> <p>【思・判・表】 ◎「読むこと」において、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。C(1)ア ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。C(1)オ</p> <p>【主】 ・進んで要旨を捉え、学習の見通しを持って筆者の考えに対する自分の意見を伝え合おうとしている。</p>	・要旨を捉えながら、科学的な読み物や新聞記事を読む。
5	<p>漢字を使おう 2</p> <p>1 時間(書 1) 教科書:P.55</p>	<p>●4年生までに習った漢字を使って、文を書くことができる。 ◇絵の中の言葉を使って文を書く。</p> <p>-----</p> <p>1 単元の学習課題を確かめる。 2 絵の中の言葉を使って、北海道や東北地方を紹介する文を書く。 3 学習を振り返り、4年生までに習った漢字を確かめる。</p>	<p>【知・技】 ◎第4学年までに配当されている漢字を書き、文の中で使っている。(1)エ</p> <p>【思・判・表】 ・「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文を整えている。B(1)オ</p> <p>【主】 ・進んで第4学年までに配当されている漢字を使い、学習課題に沿って文を書こうとしている。</p>	

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
5	情報のとびら 事実と考え 1 時間(書 1) 教科書:P.56～57 既習事項との関連 情報の全体と中心について理解する(3年「全体と中心」)	●事実と考えなど、情報と情報との関係について理解し、文や文章を書くことができる。 ◇事実と考えに気をつけて、文や文章を書く。 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。 2 事実と考えについて理解する。 3 課題に取り組み、筋道の通った文章を書く。 4 学習を振り返り、事実と考えについての理解を確かめる。	【知・技】 ◎事実と考えなど情報と情報との関係について理解している。(2)ア 【思・判・表】 ・「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。B(1)イ 【主】 ・進んで事実と考えなど情報と情報との関係について理解し、学習課題に沿って、文や文章を書こうとしている。	・テレビやインターネットのニュースを見たり、新聞記事を読んだりするとき、何が事実で何が考えかを確かめる。
5 5 6	地域のみによく伝えよう 7時間(書7) 教科書:P.58～63 【言葉の力】 筋道を立てて書く 既習事項との関連 だん落どうしのまとまりを考えて書く(4年「わたしのクラスの『生き物図かん』」)	●文章の筋道を立てながら、タウン誌の記事を書くことができる。 ◇伝える情報を整理して、地域の魅力を紹介する文章を書く。B(2)ア 見通す 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。 取り組む 2 題材について調べて情報を整理する。 3 記事の構成を考える。 4 タウン誌の記事を書く。 5 感想を伝え合う。 振り返る 6 筋道を立てて説明するために、どのようなことに気をつけたかを振り返り、身につけた「言葉の力」を確かめ、これからの学習に生かそうという意識を高める。	【知・技】 ・思考に関わる語句の量を増して話や文章の中で使っている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。(1)オ ・事実と考えなど情報と情報との関係について理解している。(2)ア 【思・判・表】 ◎「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。B(1)イ ・「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。B(1)ウ 【主】 ・進んで筋道の通った文章にするために文章全体の構成を考え、学習の見通しを持って、地域の魅力を記事にまとめようとしている。	・社会科や理科の学習で、調べて分かった事実と自分の考えを区別しながら、筋道を立てて発表する。
6	漢字の成り立ち 2時間(知技2) 教科書:P.64～65 既習事項との関連 漢字の成り立ちを知る(1上「かんじのはなし」)、漢字の意味を理解する(3下「漢字の組み立てと意味」、4上「漢字辞典の使い方」)	●漢字の成り立ちを理解することができる。 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。 2 漢字の四種類の成り立ちを知る。 3 さまざまな漢字の成り立ちを考えたり、漢字辞典を利用して成り立ちを調べたりする。 4 学習を振り返り、漢字の成り立ちについての理解を確かめる。	【知・技】 ◎漢字の由来や特質などについて理解している。(3)ウ 【主】 ・進んで漢字の成り立ちを理解し、学習課題に沿って、成り立ちから読み方や意味を考えようとしている。	
6	いにしえの言葉に親しもう 3時間(読 3) 教科書:P.66～71 既習事項との関連 短歌に親しむ。(4下「百人一首の世界」)	●古文や近代以降の文語調の文章の言葉の響きやリズムに親しみ、音読したり暗唱したりすることができる。 ◇古文や近代以降の文語調の文章を音読したり暗唱したりする。 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。 2 「竹取物語」、「平家物語」、「徒然草」、「おくのほそ道」、上杉鷹山の短歌一首、「学問のすゝめ」を読む。 3 読んだ文章に表れた昔の人の思いや考えに触れ、そのよさを味わう。 4 単元の学習を振り返り、いにしえの言葉について学んだことの理解を確かめる。	【知・技】 ◎親しみやすい古文や近代以降の文語調の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。(3)ア 【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。C(1)カ 【主】 ・進んでいにしえの言葉の響きやリズムに親しみ、学習の見通しを持って、音読したり暗唱したりしようとしている。	

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
6	<p>物語の組み立てについて考えよう 世界でいちばんやかましい音</p> <p>5 時間(読5) 教科書:P.72～88</p> <p>【言葉の力】 物語の全体像を捉える</p> <hr/> <p>既習事項との関連 物語の山場に着目する(4年「走れ」)</p>	<p>●物語の全体像を捉え、物語の中で大きく変化したことについて、考えたことを話し合うことができる。</p> <p>◇物語を読み、内容を説明したり考えを伝え合ったりする。C(2)イ</p> <hr/> <p>見通す</p> <p>1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。</p> <p>取り組む</p> <p>2 「世界でいちばんやかましい音」を読み、物語のあらすじをつかむ。</p> <p>3 場面の役割について読み取る。</p> <p>4 山場での変化について考えたことを話し合う。</p> <p>振り返る</p> <p>5 物語の組み立てや山場での変化について、どのようなことを考えたかを振り返り、身につけた「言葉の力」を確かめる。</p>	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> 文章の構成や展開について理解している。(1)カ <p>【思・判・表】</p> <p>◎「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。C(1)エ</p> <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> 進んで物語の全体像を捉え、学習の見通しを持って具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしようとしている。 	<p>・どんな変化が起こるのかを予想しながら物語を読む。</p>
7	<p>漢字を使おう 3</p> <p>1 時間(書 1) 教科書:P.89</p>	<p>●4年生までに習った漢字を使って、文を書くことができる。</p> <p>◇絵の中の言葉を使って文を書く。</p> <hr/> <p>1 単元の学習課題を確かめる。</p> <p>2 絵の中の言葉を使って、学校での一日について文を書く。</p> <p>3 学習を振り返り、4年生までに習った漢字を確かめる。</p>	<p>【知・技】</p> <p>◎第4学年までに配当されている漢字を書き、文の中で使っている。(1)エ</p> <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文を整えている。B(1)オ <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> 進んで第4学年までに配当されている漢字を使い、学習課題に沿って文を書こうとしている。 	
7	<p>思考に関わる言葉</p> <p>1時間(書1) 教科書:P.90～91</p> <hr/> <p>既習事項との関連 語句の量を増し、語彙を豊かにする(4上「人物の気持ちと行動を表す言葉」、4下「人物の行動と性格を表す言葉」)</p>	<p>●思考に関わる言葉について理解し、意図に合った言葉を選んで文を書くことができる。</p> <hr/> <p>1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。</p> <p>2 思考に関わる言葉について理解する。</p> <p>3 思考に関わる言葉を集めたり、それらを使って文を書いたりする。</p> <p>4 学習を振り返り、思考に関わる言葉についての理解を確かめる。</p>	<p>【知・技】</p> <p>◎思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使って、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。(1)オ</p> <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。B(1)オ <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> 進んで思考に関わる言葉について理解し、学習課題に沿って、意図に合った言葉を選んで文を書こうとしている。 	

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
7	<p>書き手の意図を考えよう 新聞記事を読み比べよう</p> <p>5 時間(読 5) 教科書:P.92～102</p> <p>【言葉の力】 記事の書き手の意図を読む</p> <p>-----</p> <p>既習事項との関連 表し方の工夫を読み取る(4年「広告を読みくらべよう」)</p>	<p>●書き手が、記事の内容や見出し、写真に、どのような意図をこめているのかを考えることができる。</p> <p>◇二つの新聞記事を読み比べて考えたことを伝え合う。C(2)ア</p> <p>-----</p> <p>見通す</p> <p>1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。</p> <p>取り組む</p> <p>2 二つの記事の内容を確かめる。</p> <p>3 二つの記事を読み比べ、書き手の意図を考える。</p> <p>4 新聞を持ち寄って、記事と写真に合った見出しを書く。</p> <p>振り返る</p> <p>5 どのような点に注目してそれぞれの記事の書き手の意図を考えたかを振り返り、身につけた「言葉の力」がどんな場面に役立つかを考え、これからの学習や生活に生かそうという意識を高める。</p>	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報と情報との関係付けの仕方を理解している。(2)イ <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、事実と感想、意見などの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。C(1)ア ◎「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結びつけるなどして必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりしている。C(1)ウ <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> 進んで記事の書き手の意図を読み、学習の見通しを持って、二つの新聞記事を読み比べて考えたことを話し合おうとしている。 	<p>・新聞作りをするときにも、どんな内容をどのように伝えるかという意図を持って記事を書く。</p>
7	<p>五年生の本だなくすてきなこと</p> <p>1 時間(知技1) 教科書:P.104～109</p>	<p>●日常的に読書に親しみ、自分の興味に応じた本を選んで読むことができる。</p> <p>-----</p> <p>1 単元の学習の見通しをもつ。</p> <p>2 P.108～109 の読書体験文を読む。</p> <p>3 「五年生の本だな」や P.108～109 で紹介している本などを手がかりにして自分の読書傾向を知り、自分が興味を持った本やこれまでに読んだことのない本を探して読む。</p>	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与することに気づいている。(3)オ <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> 進んで日常的に読書に親しみ、今までの学習を生かして、多様な本を読もうとしている。 	<p>・生活の中の読書に生かす。</p>
9	<p>詩を読もう 未知へ</p> <p>1 時間(読 1) 教科書:P.112～113</p> <p>-----</p> <p>既習事項との関連 場面の様子や人物の気持ちを想像しながら、詩を音読する(4年「ふしぎ／よかったなあ」)</p>	<p>●詩の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりし、想像したことが伝わるように工夫して音読することができる。</p> <p>◇詩を読み、考えたことを伝え合う。C(2)イ</p> <p>-----</p> <p>1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。</p> <p>2 詩を音読し、想像したことや気づいたことを発表する。</p> <p>3 詩の表現の工夫について考える。</p> <p>4 想像を広げながら、工夫して詩を音読する。</p> <p>5 単元の学習を振り返り、詩の全体像を想像することや表現の工夫について確かめる。</p>	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・比喩や反復などの表現の工夫に気づいている。(1)ク ・詩を音読している。(1)ケ <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎「読むこと」において、詩の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。C(1)イ <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> 進んで他の児童と意見を交換して自分の考えを深め、学習の見通しを持って詩を音読しようとしている。 	<p>・何かを呼びかけるポスターなどを作る際に、短い言葉で表現を工夫する。</p> <p>・連想メモを使って題材を集める。</p>

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
9	<p>心の動きを短歌で表そう</p> <p>4 時間(書 4) 教科書:P.114～117</p> <p>【言葉の力】 表現をくふうして短歌を作る</p> <hr/> <p>既習事項との関連 表現をくふうして詩を作る(3 上「心が動いたことを詩で表 そう」)</p>	<p>●表現をくふうしながら、心が動いたことを短 歌で表すことができる。 ◇心が動いたときのことについて短歌を作る。 B(2)イ</p> <hr/> <p>見通す 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通し を持つ。</p> <p>取り組む 2 材料を集める。 3 三十一音で表現する。 4 表現を工夫して短歌を仕上げる。 5 感想を伝え合う。</p> <p>振り返る 6 どのように表現を工夫して、短歌を作った かを振り返り、身につけた「言葉の力」を確 かめ、これからの学習に生かそうという意 識を高める。</p>	<p>【知・技】 ・思考に関わる語句の量を増し、話や 文章の中で使うとともに、語句と語句と の関係、語句の構成や変化について 理解し、語彙を豊かにしている。また、 語感や言葉の使い方に対する感覚を 意識して、語や語句を使っている。(1) オ</p> <p>【思・判・表】 ・「書くこと」において、目的や意図に応 じて、感じたことや考えたことなどから 書くことを選び、集めた材料を分類し たり関係づけたりして、伝えたいことを 明確にすること。B(1)ア ◎「書くこと」において、文章全体の構成 や書き表し方などに着目して、文や文 章を整えている。B(1)オ</p> <p>【主】 ・進んで表現を工夫して、学習の見通し を持って、心の動きを短歌で伝えよう としている。</p>	<p>・ポスターなどを 作るときに、短 い言葉で表現 を工夫する。</p>
9	<p>問題を解決するために話し合おう</p> <p>6 時間(話聞 6) 教科書:P.118～122</p> <p>【言葉の力】 意図を明確にしながらか計画的に話し合う</p> <hr/> <p>既習事項との関連 役割を考えながら話し合う(4 上「クラスで話し合って決めよう」)</p>	<p>●意図を明確にしながらか計画的に話し合って、 身の回りにある問題の解決方法を見つける ことができる。 ◇それぞれの立場から考えを伝えるなどして 話し合う。A(2)ウ</p> <hr/> <p>見通す 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通し を持つ。</p> <p>取り組む 2 議題を決める。 3 議題に対する自分の考えを持つ。 4 計画的に話し合う。</p> <p>振り返る 5 問題の解決方法を考えるためにどんなこ とに気をつけて話し合ったかを振り返り、 身につけた「言葉の力」がどんな場面に役 立つかを考え、これからの学習や生活に 生かそうという意識を高める。</p>	<p>【知・技】 ・言葉には、話し手と聞き手の間に好ま しい関係を築き、継続させる働きがあ ることに気づいている。(1)ア</p> <p>【思・判・表】 ◎「話すこと・聞くこと」において、互いの 立場や意図を明確にしながらか計画的 に話し合い、考えを広げたりまとめたり している。A(1)オ</p> <p>【主】 ・進んで意図を明確にしながらか計画的 に話し合い、学習の見通しを持ってそ れぞれの立場から考えを伝えようとし ている。</p>	<p>・学級会で、意 図を明確にしな がら、クラスの 目標について 計画的に話し 合う。</p>
9	<p>漢字を使おう 4</p> <p>1 時間(書 1) 教科書:P.123</p>	<p>●4年生までに習った漢字を使って、文を書く ことができる。 ◇絵の中の言葉を使って文を書く。</p> <hr/> <p>1 単元の学習課題を確かめる。 2 絵の中の言葉を使って、関東・中部地方 を紹介する文を書く。 3 学習を振り返り、4年生までに習った漢字 を確かめる。</p>	<p>【知・技】 ◎第4学年までに配当されている漢字を 書き、文の中で使っている。(1)エ</p> <p>【思・判・表】 ・「書くこと」において、文章全体の構成 や書き表し方などに着目して、文を整 えている。B(1)オ</p> <p>【主】 ・進んで第4学年までに配当されている 漢字を使い、学習課題に沿って文を 書こうとしている。</p>	

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
9 ～ 10	<p>●物語のおもしろさを解説しよう 注文の多い料理店</p> <p>6 時間(読 6) 教科書:P.124～144</p> <p>【言葉の力】 表現のくふうを見つける</p> <p>-----</p> <p>既習事項との関連 物語の中のだいたいの言葉に着目する(4年「一つの花」)</p>	<p>●構成や表現の工夫を見つけ、物語のおもしろさを解説する文章を書くことができる。 ◇物語を読み、内容を説明したり、物語のおもしろさについて考えたことを伝え合ったりする。C(2)イ</p> <p>-----</p> <p>見通す 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。</p> <p>取り組む 2 「注文の多い料理店」を読み、物語をおもしろくしている工夫について考える。 3 物語が伝えたかったことについて考える。 4 おもしろさを解説する文章を書く。</p> <p>振り返る 5 物語の構成や表現のどのような点に着目して物語のおもしろさを見つけたかを振り返り、身につけた「言葉の力」がどんな場面に役立つかを考え、これからの学習や生活に生かそうという意識を高める。</p>	<p>【知・技】 ・ 比喩や反復などの工夫に気づいている。(1)ク</p> <p>【思・判・表】 ◎「読むこと」において、人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。C(1)エ</p> <p>【主】 ・ 進んで表現の工夫を見つけ、学習の見通しを持って物語のおもしろさを解説する文章を書こうとしている。</p>	<p>・表現の工夫の効果を考えながら物語を読み、読書を楽しむ。</p>
10	<p>漢字を使おう 5</p> <p>1 時間(書 1) 教科書:P.145</p>	<p>●4年生までに習った漢字を使って、文を書くことができる。 ◇絵の中の言葉を使って文を書く。</p> <p>-----</p> <p>1 単元の学習課題を確かめる。 2 絵の中の言葉を使って、近畿地方を紹介する文を書く。 3 学習を振り返り、4年生までに習った漢字を確かめる。</p>	<p>【知・技】 ◎第4学年までに配当されている漢字を書き、文の中で使っている。(1)エ</p> <p>【思・判・表】 ・「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文を整えている。B(1)オ</p> <p>【主】 ・ 進んで第4学年までに配当されている漢字を使い、学習課題に沿って文を書こうとしている。</p>	
10	<p>どうやって文をつなげればいいのか？</p> <p>1 時間(書 1) 教科書:P.146～147</p> <p>-----</p> <p>既習事項との関連 接続する語句の働きを理解する(4下「つなぐ言葉」)</p>	<p>●文と文とのつなぎ方について理解し、前後の文の関係が分かるように文や文章を書くことができる。</p> <p>-----</p> <p>1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。 2 文の内容をどのように整理してつなげるかについて理解する。 3 つなぐ言葉を使って文を書き、どのような関係でつないでいるのか確かめる。 4 学習を振り返り、文と文とのつなぎ方についての理解を確かめる。</p>	<p>【知・技】 ◎文と文との接続の関係について理解している。(1)カ</p> <p>【思・判・表】 ・「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。B(1)オ</p> <p>【主】 ・ 進んで、文と文との接続の関係について理解し、学習課題に沿って、接続関係が分かるように文や文章を書こうとしている。</p>	

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
10	<p>●「文化を受けつぐ」ことについて考えよう</p> <p>和の文化を受けつぐー和菓子をさぐる</p> <p>6 時間(読 6) 教科書:P.148～160</p> <p>【言葉の力】 情報を重ね合わせて読む</p> <p>-----</p> <p>既習事項との関連 目的に合わせて要約する(4年「くらしの中の和と洋」)</p>	<p>●筆者の言う「文化を受けつぐ」ということについて、ほかの情報を重ね合わせ、自分の考えをまとめて交流することができる。</p> <p>◇説明や解説などの文章を比較するなどして読み、分かったことや考えたことを、話し合う。C(2)ア</p> <p>-----</p> <p>見通す</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。 <p>取り組む</p> <ol style="list-style-type: none"> 2 「和の文化を受けつぐ」の構成を捉え、筆者の考えを確かめる。 3 筆者の言う「文化を受けつぐ」ということについて、インタビュー記事と重ね合わせて考える。 4 書いたものを読みあって、感想を伝え合う。 <p>振り返る</p> <ol style="list-style-type: none"> 5 文章を重ね合わせて読むときに、どのような点に着目してそれぞれの文章のつながりを考えたかを振り返り、身につけた「言葉の力」がどんな場面に役立つかを考え、これからの学習や生活に生かそうという意識を高める。 	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。(2)イ <p>【思・判・表】</p> <p>◎「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりしている。C(1)ウ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。C(1)カ <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進んで情報を重ね合わせて読み、学習の見通しを持って自分の考えを交流しようとしている。 	<p>・社会科や総合的な学習の時間で資料を調べるとき、複数の資料を重ね合わせながら読む。</p>
10	<p>情報のとびら 文章と図表</p> <p>1 時間(書 1) 教科書:P.161～163</p> <p>-----</p> <p>既習事項との関連 観点を立てて比べ、複雑な情報を整理する方法について理解する(4年「観点を立てて比べる」)</p>	<p>●複雑な情報の整理の仕方や図表の効果的な活用法について理解し、話や文章に生かすことができる。</p> <p>◇文章と図表の特徴を踏まえ、情報を効果的に表現する。</p> <p>-----</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。 2 複雑な情報の整理の仕方や図表の効果的な活用法について理解する。 3 課題に取り組み、文章の情報を効果的に表現する。 4 学習を振り返り、複雑な情報の整理の仕方や図表の効果的な活用方法についての理解を確かめる。 	<p>【知・技】</p> <p>◎情報と情報との関係づけの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。(2)イ</p> <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において、引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。B(1)エ <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進んで複雑な情報の整理の仕方や図表の効果的な活用方法について理解し、学習課題に沿って、話や文章の中で使おうとしている。 	<p>・総合的な学習の時間などで発表資料を作るとき、文章と図表を効果的な活用する。</p>
10 ～ 11	<p>和の文化を発信しよう</p> <p>5時間(書5) 教科書: P.164～168</p> <p>【言葉の力】 目的に応じて情報を関係づける</p> <p>-----</p> <p>既習事項との関連 目的に合わせて材料を整理する(4下『和と洋新聞』を作ろう)</p>	<p>●資料を効果的に活用しながら、和の文化のポスターを作ることができる。</p> <p>◇文章と図表の特徴を踏まえてポスターを作る。</p> <p>-----</p> <p>見通す</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。 <p>取り組む</p> <ol style="list-style-type: none"> 2 テーマを決めて情報を集める。 3 わり付けを考え、ポスターを作る。 4 ポスターの解説文を書く。 <p>振り返る</p> <ol style="list-style-type: none"> 5 調べた情報を活用するとき、どんなことを工夫したかを振り返り、身につけた「言葉の力」を確かめ、これからの学習に生かそうという意識を高める。 	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報と情報との関係づけの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解して使っている。(2)イ <p>【思・判・表】</p> <p>◎「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝えたいことを明確にしている。B(1)ア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において、資料を引用したり図表やグラフを用いたりして、書き表し方を工夫している。B(1)エ <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進んで目的に応じて情報を関係づけ、学習の見通しを持ってポスターで発信しようとしている。 	<p>・総合的な学習の時間などで、集めた情報を目的に応じて関係づけ、効果的に発信する。</p>

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
11	熟語の構成と意味 2時間(知技2) 教科書:P.170～171 ----- 既習事項との関連 二字熟語の構成を理解する (4下「じゅく語の意味」)	●熟語の構成や使い方について理解することができる。 ----- 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。 2 二字熟語の構成の類型を理解する。 3 漢字の読み方と意味の関係を確かめる。 4 学習を振り返り、熟語の構成や使い方についての理解を確かめる。	【知・技】 ・第5学年までに配当されている漢字を読んだり、文や文章の中で使ったりしている。(1)エ ◎語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。(1)オ 【主】 ・進んで熟語の構成や意味について理解し、学習課題に沿って、文や文章の中で使おうとしている。	
11	提案します、一週間チャレンジ 4時間(話聞4) 教科書:P.172～175 【言葉の力】 印象に残るように話す ----- 既習事項との関連 聞く人に伝わるように工夫して話す(4下「聞いてほしいな、こんな出来事」)	●学校生活をよりよくするための取り組みやイベントを考えて、聞き手の印象に残るように提案することができる。 ◇意見や提案など自分の考えを話したり、それらを聞いたりする。A(2)ア ----- 見通す 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。 取り組む 2 提案するイベントを考える。 3 原稿を考えて、話す練習をする。 4 みんなの前で話す。 振り返る 5 聞き手の印象に残るために、どのように工夫して話したかを振り返り、身につけた「言葉の力」を確かめ、これからの学習に生かそうという意識を高める。	【知・技】 ・話し言葉と書き言葉の違いに気づいている。(1)イ 【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝え合う内容を検討している。A(1)ア ◎「話すこと・聞くこと」において、自分の考えが伝わるように表現を工夫している。A(1)ウ 【主】 ・進んで印象に残るように、学習の見通しを持って意見や提案など自分の考えを話したり、それらを聞いたりしようとしている。	・委員会で新しい活動を提案する。
11	和語・漢語・外来語 2時間(知技2) 教科書:P.176～177 ----- 既習事項との関連 漢字の由来を理解する(5年「漢字の成り立ち」)	●和語、漢語、外来語について理解し、使い方や印象の違いについて考えることができる。 ----- 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。 2 和語、漢語、外来語について理解する。 3 身近な語から和語、漢語、外来語を集めて、それぞれの特徴や使い方、印象の違いなどについて考える。 4 学習を振り返り、和語、漢語、外来語についての理解を確かめる。	【知・技】 ◎語句の由来などに関心をもっている。(3)ウ 【主】 ・進んで和語・漢語・外来語について理解し、学習課題に沿って、使い方や印象の違いについて考えようとしている。	
11 ～ 12	人物像について考えたことを伝え合おう 大造じいさんとがん 7時間(読7) 教科書:P.178～196 【言葉の力】 人物像をとらえる ----- 既習事項との関連 人物の気持ちの変化を想像する(4年「ごんぎつね」)	●行動や会話などから大造じいさんの人物像を想像し、考えたことを伝え合うことができる。 ◇物語を読み、人物像について考えたことを伝え合う。C(2)イ ----- 見通す 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。 取り組む 2 「大造じいさんとがん」を読み、物語のあらすじを確かめる。 3 「大造じいさん」の人物像を想像する。 4 考えたことを伝え合う。 振り返る 5 行動や会話などからどのような人物像を想像したかを振り返り、身につけた「言葉の力」を確かめ、これからの学習に生かそうという意識を高める。	【知・技】 ・文の中における主語と述語の関係に気づいている。(1)カ 【思・判・表】 ◎「読むこと」において、登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えている。C(1)イ 【主】 ・進んで人物像を捉え、学習の見通しを持って、考えたことを伝え合おうとしている。	・登場人物の人物像を捉えながら本を読み、物語を楽しむ。

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
12	漢字を使おう 6 1 時間(書1) 教科書:P.197	●4年生までに習った漢字を使って、文を書くことができる。 ◇絵の中の言葉を使って文を書く。 ----- 1 単元の学習課題を確かめる。 2 絵の中の言葉を使って、図書館や読書について文を書く。 3 学習を振り返り、4年生までに習った漢字を確かめる。	【知・技】 ◎第4学年までに配当されている漢字を書き、文の中で使っている。(1)エ 【思・判・表】 ・「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文を整えている。B(1)オ 【主】 ・進んで第4学年までに配当されている漢字を使い、学習課題に沿って文を書こうとしている。	
12	心情を表す言葉 1時間(書1) 教科書:P.198～199 ----- 既習事項との関連 語句の量を増し、語彙を豊かにする(4上「人物の気持ちと行動を表す言葉」、5年「思考に関わる言葉」)	●心情を表す言葉について理解し、意図に合った言葉を選んで文を書くことができる。 ----- 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。 2 心情を表す言葉について理解する。 3 心情を表す言葉を集めたり、それらを使って文を書いたりする。 4 学習を振り返り、心情を表す言葉について理解を確かめる。	【知・技】 ◎心情を表す語句の量を増し、話や文章の中で使って、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。(1)オ 【思・判・表】 ・「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。B(1)オ 【主】 ・進んで心情を表す言葉について理解し、学習課題に沿って、意図に合った言葉を選んで文を書こうとしている。	
12	日本語と外国語 4 時間(書4) 教科書:P.200～203 ----- 既習事項との関連 ローマ字による日本語の書き表し方を理解する(3上「ローマ字①」、4上「ローマ字の書き方」)	●日本語と外国語を比べ、日本語の特徴に気づくことができる。 ◇考えたり調べたりしたことをカードにまとめる。 ----- 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。 2 音と文字の関係から、日本語の特徴を捉える。 3 文の組み立てと語順から、日本語の特徴を捉える。 4 英語やほかの国の言葉について調べ、分かったことや考えたことをまとめる。 5 学習を振り返り、日本語の特徴についての理解を確かめる。	【知・技】 ◎文の中での語句の係り方や語順について理解している。(1)カ 【思・判・表】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝えたいことを明確にしている。B(1)ア 【主】 ・進んで日本語の特徴について理解し、学習課題に沿って、日本語と外国語の特徴をまとめようとしている。	・音声や文字、文構造などについて、日本語と外国語との違いに気づき、それを外国語科において生かす。
12	読書の世界を広げよう 2 時間(読2) 教科書:P.204～207 ----- 既習事項との関連 これまで読んだ本を振り返る(5年「図書館へ行こう」5年「五年生の本だな」)	●読書マップを作成して紹介し合う活動を通して、自分の考えを広げ、読書生活を豊かにすることができる。 ◇1冊の本から関連する複数の本を探して読書マップを作り、紹介し合う。C(2)ウ ----- 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。 2 今までに読んだ本を振り返り、紹介したい本を選ぶ。 3 1冊の本から、つながりのある本を探して「読書マップ」を作る。 4 マップをもとに本を紹介し合う。 5 学習を振り返り、友達が紹介した本やP206・207で紹介している本などを手がかりにして、これからの読書生活に生かそうという意識を高める。	【知・技】 ・日常的に読書に親しみ、読書が自分の考えを広げることに役立つことに気づいている。(3)オ 【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。C(1)カ 【主】 ・進んで日常的に読書に親しみ、これまでの学習を生かして、読書マップを作成しようとしている。	・生活の中の読書に生かす。

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
12	漢字を使おう 7 1 時間(書 1) 教科書:P.208	●4年生までに習った漢字を使って、文を書くことができる。 ◇絵の中の言葉を使って文を書く。 ----- 1 絵の中の言葉を確認め、学習の見通しを持つ。 2 絵の中の言葉を使って、中国・四国地方を紹介する文を書く。 3 学習を振り返り、4年生までに習った漢字を確認める。	【知・技】 ◎第4学年までに配当されている漢字を書き、文の中で使っている。(1)エ 【思・判・表】 ・「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文を整えている。B(1)オ 【主】 ・進んで第4学年までに配当されている漢字を使い、学習課題に沿って文を書こうとしている。	
1	いにしえの人のえがく世界 3時間(書 3) 教科書:P.210～213 ----- 既習事項との関連 古文や近代以降の文語調の文章に親しむ(5年「いにしえの言葉に親しもう」)	●古文とその解説文を読み、昔の人のものの見方や感じ方について、現代の自分たちと比べて考えをまとめることができる。 ◇「枕草子」に倣って、自分にとっての季節の見方や感じ方を文章にまとめる。 ----- 1 既習事項を確認め、単元の学習の見通しを持つ。 2 「枕草子」の作者のものの見方や考え方を、自分たちと比べながら捉える。 3 四つの季節の中から好きなものを選び、自分にとっての季節の見方や感じ方を文章にまとめる。 4 単元の学習を振り返り、昔の人のものの見方や感じ方について学んだことの理解を確認める。	【知・技】 ◎古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して、昔の人のものの見方や感じ方を知っている。(3)イ 【思・判・表】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選んでいる。B(1)ア ・「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。B(1)ウ 【主】 ・進んで古文とその解説文を読んで昔の人のものの見方や感じ方を知り、学習課題に沿って、昔の人に倣って自分にとっての季節の見方や感じ方を文章にまとめることができる。	
1	●ロボットとの未来について考えよう 「弱いロボット」だからできること 6 時間(読 6) 教科書:P.214～226 【言葉の力】 多角的に捉える ----- 既習事項との関連 筆者の考えから自分の考えを広げる(4年「数え方を生み出そう」)	●二つの文章を読み、ロボットとの未来について考えたことを話し合うことができる。 ◇複数の本や新聞などを活用して、調べたり考えたりしたことをまとめる。C(2)ウ ----- 見通す 1 既習事項を確認め、単元の学習の見通しを持つ。 取り組む 2 「『弱いロボット』だからできること」を読み、さまざまなロボットについて調べる。 3 二つの文章を読み、ロボットとの未来について多角的に考える。 4 二つの文章を読んで考えたことをもとに、ロボットとの未来について話し合う。 振り返る 5 ロボットとの未来について、二つの文章を読むことで考えがどう変わったり深まったりしたかを振り返り、身につけた「言葉の力」を確認め、これからの学習に生かそうという意識を高める。	【知・技】 ・情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。(2)イ 【思・判・表】 ・「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結びつけるなどして必要な情報を見つかったり、論の進め方について考えたりしている。C(1)ウ ◎「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。C(1)オ 【主】 ・進んで二つの文章から多角的に捉え、学習の見通しを持って、自分の考えを伝え合おうとしている。	・テレビや新聞、インターネットのニュースの話題を多角的に捉え、自分の考えを広げる。

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
1	漢字を使おう 8 1 時間(書1) 教科書:P.227	●4年生までに習った漢字を使って、文を書くことができる。 ◇絵の中の言葉を使って文を書く。 1 単元の学習課題を確かめる。 2 絵の中の言葉を使って、九州地方を紹介する文を書く。 3 学習を振り返り、4年生までに習った漢字を確かめる。	【知・技】 ◎第4学年までに配当されている漢字を書き、文の中で使っている。(1)エ 【思・判・表】 ・「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文を整えている。B(1)オ 【主】 ・進んで第4学年までに配当されている漢字を使い、学習課題に沿って文を書こうとしている。	
1	情報のとびら 考えのちがひ 1 時間(書1) 教科書:P.228～229 ----- 既習事項との関連 考えの理由を吟味する方法を理解する(4年「理由を ぎんみする」)	●対立する考えを持つとき、お互いが納得するための方法について理解し、学んだことを生かして文や文章を書くことができる。 ◇相手との考えの違いを踏まえて、自分の考えを書く。 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。 2 お互いの考えが違ふとき、相手の考えとその理由を確かめることの大切さを理解する。 3 課題に取り組み、さまざまな考えの理由を考える。 4 学習を振り返り、対立する考えを持つときのお互いが納得するための方法についての理解を確かめる。	【知・技】 ◎情報と情報との関係づけの仕方を理解し使っている。(2)イ 【思・判・表】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。B(1)ウ 【主】 ・進んで、対立する考えを持つときのお互いが納得するための方法について理解し、学習課題に沿って、学んだことを生かして文や文章を書こうとしている。	・考えが対立したとき、お互いの考えの違いを踏まえて建設的に議論する。
2	どう考える? もしもの技術 6時間(書6) 教科書:上巻 P.230～235 【言葉の力】 反対意見を予想して書く ----- 既習事項との関連 理由を吟味して考えを書く(4年「自分なら、どちらを選ぶか」)	●反対意見を予想しながら、自分の考えたことや伝えたいことを書くことができる。 ◇反対意見を予想しながら意見文を書く。B(2)ア 見通す 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。 取り組む 2 自分の立場を決めて考えを持つ。 3 考えを整理する。 4 構成を考える。 5 意見文を書く。 6 感想を伝え合う。 振り返る 7 説得力を持たせるために、どんなことに気をつけて文章を書いたかを振り返り、身につけた「言葉の力」を確かめ、これからの学習に生かそうという意識を高める。	【知・技】 ・思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使っている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。(1)オ ・考えとそれを支える理由など情報と情報との関係について理解している。(2)ア 【思・判・表】 ・「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。B(1)イ ◎「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。B(1)ウ 【主】 ・進んで反対意見を予想し、学習の見通しを持って、考えたことや伝えたいことを書こうとしている。	・話し合いなどの場で、自分の考えとその理由を、異なる考えを持つ人に分かりやすく伝える。
2	方言と共通語 2 時間(知技 2) 教科書:P.236～237 ----- 既習事項との関連 言葉遣いについて理解する(5年「敬語」)	●方言と共通語について理解し、場に応じた適切な言葉遣いをすることができる。 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。 2 方言と共通語の違いや、それぞれの特徴とよさについて理解する。 3 身近な地域の方言について、本やインターネットで調べる。 4 学習を振り返り、方言と共通語についての理解を確かめる。	【知・技】 ◎方言と共通語との違いを理解している。(3)ウ 【主】 ・進んで方言と共通語について理解し、学習課題に沿って、場に応じた適切な言葉遣いをしようとしている。	

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
2	<p>資料を見て考えたことを話そう</p> <p>6 時間(話聞 6) 教科書:P.238～244</p> <p>【言葉の力】 資料と関係づけて話す</p> <hr/> <p>既習事項との関連 分かりやすく伝える(4下「調べたことをほうこくしよう」)</p>	<p>●「食品ロス」に関する資料を関係づけながら、自分の考えを話すことができる。 ◇意見や提案など自分の考えを話したり、それらを聞いたりする。A(2)ア</p> <hr/> <p>見通す 1 既習事項を確かめ、単元の見通しを持つ。</p> <p>取り組む 2 資料を読み、考えをまとめる。 3 話の構成を考える。 4 自分の考えを発表する。</p> <p>振り返る 5 自分の考えを聞き手に伝えるために、どんなことに気をつけて話したかを振り返り、身につけた「言葉の力」を確かめ、これからの学習に生かそうという意識を高める。</p>	<p>【知・技】 ・思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。(1)オ ・情報と情報との関係づけの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。(2)イ</p> <p>【思・判・表】 ◎「話すこと・聞くこと」において、話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えている。A(1)イ ・「話すこと・聞くこと」において、資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫している。A(1)ウ</p> <p>【主】 ・進んで資料と関係づけて、学習の見通しを持って意見や提案など自分の考えを話したり、それらを聞いたりしようとしている。</p>	<p>・算数の学習で、分かったことや考えたことについて黒板などを使って説明する。</p>
2	<p>漢字を使おう 9</p> <p>1 時間(書 1) 教科書:P.245</p>	<p>●4年生までに習った漢字を使って、文を書くことができる。 ◇絵の中の言葉を使って文を書く。</p> <hr/> <p>1 単元の学習課題を確かめる。 2 絵の中の言葉を使って、九州地方を紹介する文を書く。 3 学習を振り返り、4年生までに習った漢字を確かめる。</p>	<p>【知・技】 ◎第4学年までに配当されている漢字を書き、文の中で使っている。(1)エ</p> <p>【思・判・表】 ・「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文を整えている。B(1)オ</p> <p>【主】 ・進んで第4学年までに配当されている漢字を使い、学習課題に沿って文を書こうとしている。</p>	
2	<p>●伝記を読んで感想文を書こう 手塚治虫</p> <p>5時間(読5) 教科書:P.246～262</p> <p>【言葉の力】 伝記を読んで生き方について考える</p> <hr/> <p>既習事項との関連 物語の終わり方について考える(4年「世界一美しいぼくの村」)</p>	<p>●伝記に描かれている人物の人物像を捉え、生き方についての考えをまとめることができる。 ◇伝記を読み、人物の生き方について考えたことを伝え合う。C(2)イ</p> <hr/> <p>見通す 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。</p> <p>取り組む 2 「手塚治虫」を読み、手塚治虫(治)の生き方を読み取る。 3 手塚治虫(治)の人物像を捉える。 4 伝記を読んで考えたことを感想文にまとめる。</p> <p>振り返る 5 伝記に描かれていた人物について、自分と重ね合わせてどのようなことを考えたかを振り返り、身につけた「言葉の力」を確かめ、これからの学習に生かそうという意識を高める。</p>	<p>【知・技】 ・読書が、自分の考えを広げることに関与することに気づいている。(3)オ</p> <p>【思・判・表】 ◎「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。C(1)オ ・「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。C(1)カ</p> <p>【主】 ・進んで伝記を読んで生き方について考え、学習の見通しを持って感想文を書こうとしている。</p>	<p>・伝記に描かれた人物の生き方などに注意して読み、読書を楽しむ。</p>

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
3	漢字を使おう 10 1 時間(書1) 教科書:P.263	●4年生までに習った漢字を使って、文を書くことができる。 ◇絵の中の言葉を使って文を書く。 ----- 1 単元の学習課題を確かめる。 2 絵の中の言葉を使って、これからの目標を書く。 3 学習を振り返り、4年生までに習った漢字を確かめる。	【知・技】 ◎第4学年までに配当されている漢字を書き、文の中で使っている。(1)エ 【思・判・表】 ・「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文を整えている。B(1)オ 【主】 ・進んで第4学年までに配当されている漢字を使い、学習課題に沿って文を書こうとしている。	
3	わたしの文章見本帳 4時間(書4) 教科書: 上巻 P.264～267 【言葉の力】 目標に応じて文章を書きかえる ----- 既習事項との関連 文章のよいところを確かめる。(4下「十年後のわたしへ」)	●文章の種類に着目して、自分だけの文章見本帳を作りましょう。 ◇これまでに書いた文章をもとに、文章見本帳を作る。 ----- 見通す 1 学習課題を確かめ、学習の見通しを持つ。 取り組む 2 文章の種類をかえて書く。 3 文章見本帳を作る。 ふり返る 4 文章の種類によって、書き方や表現のくふうにどのようなちがいがあったかを振り返り、身につけた「言葉の力」を確かめ、これからの学習に生かそうという意識を高める。	【知・技】 ・文章の種類とその特徴について理解している。(1)カ 【思・判・表】 ・「書くこと」において、「書くこと」において、目的や意図に応じて集めた材料を関係づけ、伝えたいことを明確にしている。B(1)ア ◎「書くこと」において、文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけている。B(1)カ 【主】 ・進んで目的に応じて文章を書き替え、学習の見通しを持って、文章見本帳を作ろうとしている。	・目的や相手、文章の種類に合った書き方になっているかを確かめる。